

学校だより

豊かっ子



喜多方市立豊川小学校
令和3年1月25日(月)
発行者 校長 遠藤 信恵
第18号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成
◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子



【始業式での新年のあいさつ】

さて、今年は「丑年」です。「丑年」は、先を急がず、一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。始業式では、今年は自分の目標に向かってねばり強く、こつこつと努力を積み上げていくことを大切にしていこうという話をしました。

そして、13日(木)と14日(金)には、各学年の代表児童が、放送で3学期の目標を発表しました。これまでの生活を振り返るとともに、進級や進学をしっかりと見据えて、具体的な目標を立てていることに感心しました。

50日間という短い3学期ですが、今年度の仕上げと新年度の準備を行うとても大切な学期です。子どもたちがその学年で身に付けるべきことを確実に身に付け、自信をもって進級や進学ができるよう、気を引き締めて教育活動を進めてまいります。これからも、皆様方のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

第3学期がスタートしました

明けましておめでとうございます。雪国らしい景色の中で3学期がスタートしました。子ども達が健康で楽しく冬休みを過ごし、始業式では元気な顔を見ることができたことを、今年は特に嬉しく感じました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

心豊かに生きるために ～性教育授業～

19日(火)、「会津助産師の家 おひさま」のお二人の助産師を講師に、性についての授業を行いました。

4年生は「からだの二次性徴」をテーマに、性についての正しい知識と、生と性のつながりについて学びました。講師の先生から「自分が好きな人？」と質問されると、誰も手を挙げる事ができませんでした。子ども達は、思春期の発育の特徴や体の変化を学ぶだけでなく、心を育てていくことの大切さも学ぶことができました。

5・6年生は「生命誕生」をテーマに、人の命の始まりやエイズについて学びました。初めて見る精子と卵子が出会う映像や、母胎の中で育っていく赤ちゃんの実際の大きさの人形に驚きながらも、自他や異性を大切にすることや、親の思いを理解することができたようです。

子ども達からは、「自分の体を大切にしたい。」「自分自身を大切にしたい。」という感想がたくさんありました。これから子ども達は、心も体も大きく変化し成長する時期を迎えます。発達には個人差があり、劣等感を持ちやすくなる時期でもあります。精神的自立を支援しながら自己肯定感を育み、「自分が好き」と言える子ども達を育てていきたいと思えます。



税の大切さを学びました ～租税教室～

14日(木)、6年生を対象に、喜多方市役所税務課の職員による租税教室を行いました。子ども達は1学期に社会科の授業で税について学びました。どんな税があるか聞かれると、「消費税、所得税、酒税…」など、たくさんの税の名前を知っていて感心しました。税に関するDVDを視聴し、税金の種類や使い道、役割や必要性について学び、もしも税金がなかったら私たちの生活が成り立たないことなど、税の大切さについて理解を深めることができました。最後に、アタッシュケースから取り出した1億円のレプリカを持たせていただきました。とても貴重な経験ができました。



【1億円の重さは？】

優しさや思いやりの心を育む ～子ども園・小学校連携事業～



【園児と一緒に遊びを考える】

14日(木)、5年生が第二子ども園を訪問し、年長児とふれあいました。グループに分かれて、園児と一緒に鬼ごっこやだるまさんがころんだなどの遊びを楽しみました。はじめは遠慮がちだった5年生達も、遊びを通して自然と気遣いができるようになり、目線を合わせて話をしたり手を引いたり、優しく接する姿をたくさん見る事ができました。

幼小交流活動は、優しさや思いやりの心を育てるだけでなく、子ども達自身が、自分の成長の実感を持つことができた有意義な活動になりました。園児にとっては、小学校への期待と意欲を高めるきっかけになればうれしい限りです。

団子さし・試食会(2年生)

10日(水)、食生活改善推進委員会の皆様にお手伝いいただきながら3色の団子や飾りを作り、旧正月の伝統行事である団子さしを行いました。

翌日には、その団子を使った団子汁を作ってくださいました。子ども達は「おいしい!」と大喜びでした。食改の皆様、2日間にわたり大変お世話になりました。



そろばん学習(3年生)

19日(火)と21日(木)の算数の時間に、みとみ学園の先生からそろばんを教えていただきました。初めて体験する子ども達も、楽しみながらあっという間に上達し、最後は読み上げ算もできるようになりました。



家庭学習の充実に向けて

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。学校では、様々な取組を通して子ども達の学力向上を図っていますが、家庭でも学習に取り組むことにより、その効果が何倍にも高められます。1年間の学習のまとめとなる3学期は、家庭との連携・協力により家庭学習の充実さに力を入れて取り組んでいきたいと思えます。

まずは、学年×10分+10分以上は、机に向かう習慣を身に付けさせたいと考えます。宿題と自主学習が早めに終わった場合は、残り時間は読書を読みます。家庭での読書の習慣も身に付けさせていきたいと思えます。習慣化していくためには、とにかく続けることが大切です。

家庭学習は、子ども達に「自立心」と「自律心」を育む絶好の場でもあります。以下の『家庭学習を充実させるための家庭・地域の3つの視点』を参考にご協力をお願いいたします。

家庭学習を充実させるための 家庭・地域の3つの視点

福島県教育委員会作成：ふくしまの「家庭学習スタンダード」より

視点1：心の支え

- コミュニケーションを大切にし、お子さんの言葉に耳を傾け、心に寄り添ってよき話し相手になりましょう。
- 自信をなくしたり、学習成果に不安を感じたりしているときには、安心感を与えてあげましょう。

視点2：環境づくり

- 学習する場所を整理し、集中できる環境をつくりましょう。
- 家族と一緒に読書をする機会を設けましょう。
- 図書館・公民館などの利用や体験活動を促しましょう。
- 地域行事に積極的に参加させましょう。

視点3：習慣づくり

- 早寝・早起きやお手伝いの習慣を身に付けさせましょう。
- 朝ご飯は、必ず「毎日」、できるだけ「みんなで」食べましょう。
- テレビやゲーム、スマホなどをするときのルールを決めましょう。

